

第2期 | 2024 to 2028

概要版

# 沖縄市スポーツ推進計画

誰もが生涯を通じ

スポーツに親しむことができる

スポーツコンベンションシティ



## 計画策定の趣旨

- 市民がスポーツの多様な効果・効用を十分享受できるよう、「沖縄市スポーツ推進計画」を平成25（2013）年度に策定し、これまで具体的な取組みを進めてきましたが、令和2（2020）年当初から世界中を席捲した新型コロナウイルス感染症は、市民のスポーツ環境に大きな影響を与え、外出が制限されるような状況が長く続いたことで、高齢者のフレイルや子どもたちの生活習慣の変容など、新たなリスクも顕在化しました。
- FIBAバスケットボールワールドカップ2023が開催されるなど、改めてスポーツの気運の高まりが戻りつつあるほか、競技スポーツ人口の減少や指導者の高齢化、学校部活動の地域移行など、スポーツを取り巻く環境も前計画の策定当時とは大きく変容しつつあります。
- こうした状況にあっては、本市としてスポーツの意義や役割を改めて捉えなおし、アフターコロナを見据えたこれからの暮らしのなかで、スポーツが日常の暮らしのルーティンとして溶け込むことができるよう計画的、体系的に取り組んでいく必要があることから、この計画は、前計画や総合計画における経過を現在の状況に置き換え、今後の5年間の本市のスポーツ振興の羅針盤として策定するものです。

## 計画の位置付け

- 本計画は、スポーツ基本法に基づき、国のスポーツ基本計画を参酌し、本市の最上位計画である第5次沖縄市総合計画との整合を図り、スポーツ行政のビジョンと方向性を示すものです。また、本市の各分野における関連計画との連携を図ります。



## 計画の期間

- 計画期間は、令和6（2024）年度から令和10（2028）年度までの5年間とします。

## 計画が対象とするスポーツの範囲

- 本計画では、野球やバスケットボール、サッカーなどの競技種目やレクリエーション活動のほか、健康のための散歩や体操などの軽い運動、さらに徒歩や自転車による通勤や買い物などの日常生活における活動など、意識的・継続的に行う様々な身体活動のことを「スポーツ」として幅広く捉え、これまでスポーツに縁のなかった方にも気軽に親しんでいただくことを目指します。



## スポーツの力

- 近年、社会情勢の変化は著しい中で、体を動かすという人間の本源的な欲求を満たす直接的な力のみならず、個人レベルから社会レベルまで広く好影響を波及させ地域課題の解決方策として活かされることが期待される活動として改めて注目されています。



## 市のスポーツに関する現況・特徴



### スポーツ実施率

39.3%

スポーツ実施率は39.3%と現行計画の基準値より微減となりましたが、約1/3の市民がコロナの影響によりスポーツ機会が減少したとしており、その減少がなかった場合には45.7%程度であった可能性も考えられます。

年代別のスポーツ実施率は、本市では高齢者が低い（ビジネスパーソン世代が高い）特徴的な傾向となっています。

### スポーツを実施する理由

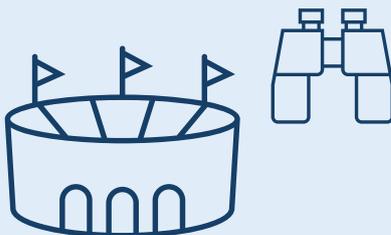
- 1位：体力・健康のため
- 2位：運動不足を感じるから
- 3位：楽しみ・気晴らし

### スポーツを実施しない理由

- 1位：家事が忙しい
- 2位：勤務時間が長い
- 3位：経済的なゆとりがない

### プロスポーツに求めるもの

- 1位：子どもの夢や希望
- 2位：感動や元気
- 3位：地域貢献



### スポーツ観戦率

35.9%

強みである豊富なスポーツチームとのかかわりを活かした取組を展開しています。



過去1年間に直接スポーツを観戦した割合は35.9%ですが、コロナの影響により直接観戦が減少し、逆に近年のチャンネルの多様化によるテレビ等の視聴が増えたことによる影響を鑑みると、高い水準にあると言えます。

興行としてのスポーツに触れる機会が豊富なこともあり、競技レベル別ではプロスポーツ観戦が最も高い割合を占めています。

### スポーツボランティア 参画率

8.3%

過去1年間におけるスポーツボランティアへの参画率は8.3%と概ね全国的な水準に近い割合となっています。

### 障がい者スポーツへの 関与経験

7.6%

体験よりも観戦やボランティア等での関与がやや多い結果となっています。

### スポーツ行政へ 求めるもの

- 1位：公園整備
- 2位：道路整備
- 3位：スポーツ行事の開催

スポーツをする場所や環境、機会に関するニーズが多く挙がっています。



将来像

方向性

方針



# 1 状況に応じた柔軟な スポーツ機会をつくり・はぐくむ

目標数値：週1回以上スポーツをする市民の割合

現状値（R4年度）  
39.3% ▶ 目標値（R10年度）  
70.0%

スポーツの振興

誰もが生涯を通じてスポーツに親しむことができる  
スポーツコンベンションシティ

# 2 誰もがアクセスできる スポーツ環境を整える

目標数値：市スポーツ施設利用者数

現状値（R4年度）  
45.6万人 ▶ 目標値（R10年度）  
92.9万人

スポーツによる振興

# 3 スポーツであつまりともに 活動しつながりをつくる

目標数値：市内の主要ホテル延べ宿泊数

現状値（R4年度）  
19.5万人 ▶ 目標値（R10年度）  
38.8万人



基本施策	具体施策
1-1 子どものスポーツ推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 親子で楽しめるスポーツイベントの開催及び支援の実施</li> <li>● 学校体育の推進</li> <li>● 生徒のスポーツ環境の確保・維持</li> <li>● 食育の推進</li> <li>● 児童のスポーツ環境の確保・維持</li> <li>● 児童生徒の競技力向上に向けた支援の実施</li> </ul>
1-2 働く世代・子育て世代の スポーツ推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 気軽に参加できるスポーツ教室およびスポーツイベント等の開催</li> <li>● 多様なスポーツプログラムの提供及びスポーツサークルの活動支援</li> <li>● スポーツイベントの開催支援</li> <li>● ライフステージに応じた健康づくり支援</li> </ul>
1-3 高齢者のスポーツ推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>● スポーツによる介護予防</li> <li>● 高齢者のスポーツ機会の創出</li> </ul>
1-4 障がい者のスポーツ推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 障がい者（児）のスポーツ機会の創出</li> <li>● 障がい者スポーツ用具の購入・貸与による活動支援</li> </ul>
2-1 スポーツ環境や場の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 沖縄市立総合運動場体育施設（コザ運動公園）の改修更新による機能の維持向上</li> <li>● 公園の活用促進</li> <li>● 学校体育施設及び地域・学校連携施設の活用促進</li> <li>● 全ての市民が不自由なく利用できるスポーツ環境の実現</li> </ul>
2-2 スポーツを支える人材・団体の 確保・育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 総合型地域スポーツクラブへの支援</li> <li>● スポーツ推進委員の活用促進</li> <li>● 沖縄市スポーツ協会への支援</li> <li>● スポーツボランティアの育成</li> </ul>
2-3 情報発信の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 多様な媒体の活用によるスポーツ情報の提供</li> </ul>
3-1 スポーツを通じた多様な 交流の創出	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 誰でも楽しめるスポーツの普及・促進</li> <li>● プロスポーツチーム等との連携による応援機運の醸成</li> <li>● 国内交流事業でのスポーツ交流の推進</li> </ul>
3-2 スポーツ交流人口拡大による 地域経済の活性化	<ul style="list-style-type: none"> <li>● スポーツコンベンションの推進</li> <li>● スポーツツーリズムの推進</li> <li>● 沖縄アリーナの活用促進</li> <li>● モータースポーツの振興</li> <li>● 東部海浜開発事業の推進</li> </ul>
3-3 スポーツの産業化	<ul style="list-style-type: none"> <li>● スポーツ関連事業を創出しやすい環境づくり</li> <li>● デジタル技術の活用やeスポーツ等新たなスポーツ産業との連携</li> <li>● プロスポーツチーム等との連携による新たな商品・サービスの創出</li> </ul>

## 推進体制

### (1) 他分野との横断的な取組み

- 計画を着実に推進するため、市観光スポーツ振興課を中心に、庁内における教育、福祉、保健、観光などの他分野との連携を図ります。

### (2) 国や県との整合性

- 国や県の動向・方向性を確認しながら計画の推進に取り組みます。

### (3) 関係団体との連携

- 総合型地域スポーツクラブやスポーツ推進委員協議会、スポーツ協会、スポーツ少年団、体育施設指定管理者などの関係団体をはじめ、多様な連携を図ります。

## 進行管理

- 本計画の推進にあたっては、取組み単位での施策進捗等“アウトプット”に関する数値や、成果指標の達成度合い等“アウトカム”に関する数値を定期的に計測し、年に1回以上、スポーツ推進審議会において計画の評価・検討を行いながら、PDCAサイクルを繰り返すことにより、取組みを継続的に改善していきます。
- また、スポーツを巡る最新の動向を把握するとともに、関係団体や庁内関係部局と調整をしながら取り組みます。

